

百メートル程度と聞く。

近年、形態は異なるが、三〇キロメートル程度視聴できる、コミュニティFMが避難所情報やライフライン情報など、生活に不可欠な情報を届け、活躍したとも聞いている。

ラジオは災害に強く、細かい情報を伝達できるツールとして有効であり、今後、事例を検証する中で、導入の可能性について研究していく。

問 市内の多くの地区が設備している地区放送を利用すれば、より多くの市民に防災情報が伝達できると思うが、市長の考えを聞く。

答 防災情報の伝達手段として、非常に有効な手段と考える。今後、地区長や自主防災組織と連携をする中で、活用を検討していく。

太陽光発電について

問 太陽光発電所の設置により、隣接する住民が、熱や反射光による被害や、転売による所有権の移転等、不安を感じている。近隣市町村には条例制定するところもあるが、市と

しての考えを聞く。

答 高知県の太陽光発電施設の設置運営等に関するガイドラインでは、五〇キロワット未満の施設については届け出の義務もなく、現状把握がでない状況にある。そのため、関係等に設置申請があった場合、環境課に報告するよう指示するとともに、事業者には、地区長などの関係者に説明をし、同意を得ていただくよう協力を求めることを確認した。

条例制定については、市民の不安の解消に向け、他市町村の状況も踏まえて、検討していく。



議会報告会（意見交換・懇談会）の開催について

報告会の内容は、はじめに議会の報告を行い、その後、皆さんとの意見交換会の時間とする予定です。皆さんの貴重なご意見をお伺いいたしたく、ご参加をお待ちしています。

開催場所	日 時	担当班
小筑紫基幹集落センター	平成30年11月12日(月) 19:00～	1 班
和田集会所		2 班
橋上中学校体育館	平成30年11月13日(火) 19:00～	1 班
宿毛文教センター会議室1		2 班
宿毛市総合社会福祉センター	平成30年11月14日(水) 19:00～	1 班
山奈小学校体育館		2 班
東部農村環境改善センター	平成30年11月15日(木) 19:00～	1 班
沖の島開発総合センター	平成30年11月15日(木) 10:00～	2 班

【班構成】

1 班	代表 野々下昌文 川田栄子、山岡 力、岡崎利久、松浦英夫、寺田公一、濱田陸紀
2 班	代表 山本 英 川村三千代、原田秀明、高倉真弓、山上庄一、山戸 寛、宮本有二